

秘密指定解除

外交記録・情報公開室

極秘

日韓請求権問題解決要綱
に関する件

36. 11. 7

日韓合談の諸懸案中、請求権問題
は、韓国側がとくに重視している
関係上、朴正熙最高会議議長来日の
機会に、先方は必ずこの問題をとり
上げるものと考えられるので、概ね
下記の方針により、対処するものと
いたしたい。

先にも書いた金裕澤経済企画院長

10. 先方の要求する線として5億ドル
を主張したが、韓国側は最近におい
ては5億ドルくらいを考えているので
はないかとの情報がある。

：他方、わが国戦後の賠償の例に
徴すれば、ウイトナムを除いては、
ビルマに対する2億ドルが最低で
あり、しかも現にこれの増額が
問題になっている。

従って、日韓請求権問題の解決に
当たっては、両国間の過去、現在の

特殊かつ密接な関係に照らし、究極

的には、請求権の処理（無償経済

援助を含む）として ~~2億~~ドル、いわゆる

経済協力として ~~2億~~ドル、計 ~~4億~~

ドル程度にて收拾するのが妥当で

ありうと考えられるが、朴議長との

会談においては、下記のラインにより

大体 ~~5億~~ドル くらいの数字を示す

こととしたらしい。

2. (1) 請求権の処理については、その

基礎となる各項目の数字、金額等

につき未だ事務的検討を終わっていない
ので、明確な結論を出し得る段階
に至っていないわけであるが、適当な
名目による無償贈与を含めて大体
~~4億5千万ドル~~程度の金額を妥当な
と考える。

(すなわち、事務的検討の結果、

~~4億5千万ドル~~が十分根拠ありと

認められた場合はよいが、説明困難

の場合には、その部分だけは無償経

済援助を考えた。）

(2) 上記請求権の処理に加え、いわゆる
経済協力として、対インド円借款と
ほぼ同条件にて、~~5億ドル~~ ~~(1億~~
~~5千万ドル)~~ の借款を供与する。

3. なお、現在日韓オープンアカウント
には、4572万ドル余のいわゆる
無償債権があり、これは韓国側として
返済する意図はないものと認めら
れるが、韓国側が国内関係で請求権
(無償経済援助を含む)の金額の増加
を望むならば、韓国側としてこれの返

済を確約せしめた上で、いわゆる請求
権の金額を ~~5千ドル~~ 増額すること
も一つの方策である。

4. 請求権問題の解決は、煙草問題
の同時解決を当然の前提とするもの
である。

5. 請求権問題につき、今次会談におい
て、何等かの合意をみた場合には、
その内容が外部に絶対に洩らさない
よう、双方において、嚴重に注意する
こと。